

源流域元気プロジェクト

1 [何のために?] ねらいや効果

「日進市全体が大切な天白川の源流域です」。この少数派の意見が多数派の常識へと転換させていくことをめざしながら、市内の川が源流らしいきれいな川になるように取り組みます。

関連する環境指標 (詳細は資料編参照)
 河川のBOD75%値、河川愛護団体数



2 [何をいつどのように?] 具体的な進め方

注：●は、実施年度を表す。●のないものは実施済みもしくは、実施中のものです。(以下同じ)

[A]: 市民主体・行政共働 / [B]: 行政主体・市民参加

1) 河川愛護活動を育む

		21-25年度	26-30年度
既に行われている河川愛護活動への参加	[A]	●●●●	●●●●
アダプトプログラム制度の実施と普及	[A][B]	●●●●	●●●●
河川沿いの緑化木事業の実施	[A]	●●●●	●●●●
河川愛護団体への支援や交流企画の開催	[A]	●●●●	●●●●

2) 河川・ため池に関する調査を行う

家庭・事業所の排水状況の調査	[A]	●●●●	●●●●
河川・ため池の全体状況調査と定点観測化	[A][B]	●●●●	●●●●
市の調査を補完する市民による水質調査の実施	[A]	●●●●	●●●●

3) 川を知り、川を楽しむ

「天白川を歩きましょう」イベントの開催	[A]	●●●●	●●●●
川マップの作成とPR	[A]	●●●●	●●●●
総合的な学習など学校での河川に関する教育の普及	[A]	●●●●	●●●●

4) 源流域を元気にするための手法を研究し実践する

「源流域元気」の考え方の普及	[A]	●●●●	●●●●
先進地事例研究と日進市での実践	[A]	●●●●	●●●●

5) 水辺の環境を守るための活動の輪を広げる

様々な主体による組織の結成、活動(清掃・草刈等)の展開	[A]	●●●●	●●●●
天白川的环境を考えるための「天白川フォーラム」の開催	[A][B]	●●●●	●●●●

3 [どこで?] 実施場所

天白川、その他の日進市内のあらゆる水域

4 [誰が誰と何を?] 取組主体と関係者の役割

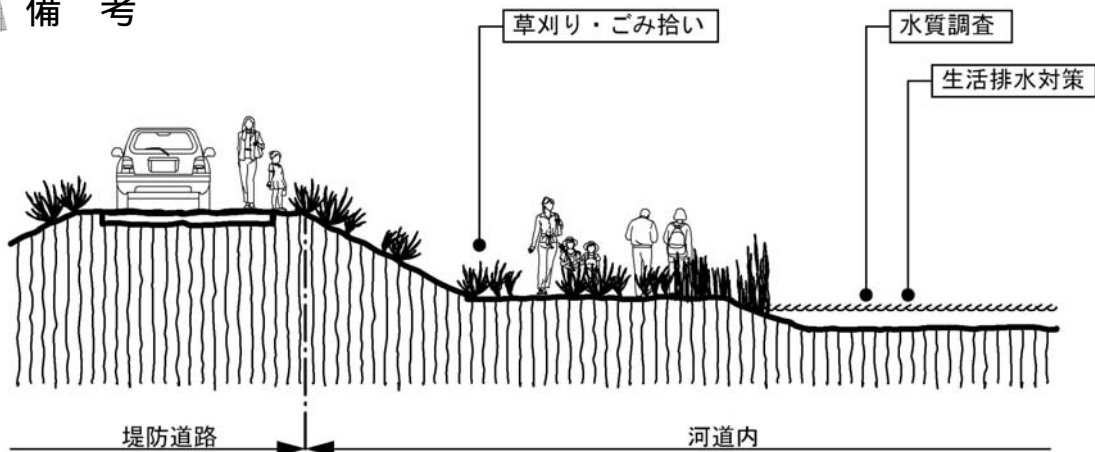
取組主体 市民団体（地域自治組織、環境パートナーシップ組織、河川愛護・自然観察など各種活動団体）
市（水と緑の課、環境課、産業振興課、建設課）

注：全体として市民主体行政共働型プロジェクトは市民団体を先に、行政主体市民参加型プロジェクトは市を先に掲載してあります。各主体内は順不同。以下同じ。

市（行政） アダプトプログラム制度の導入 水質調査の継続・充実 取組主体への支援 関係機関との連絡調整	市民団体 プロジェクトの推進 プロジェクトへの参画	事業者 排水への配慮
	市民（滞在者等を含む） 排水への配慮 講座や活動への参加	教育機関 環境学習機会の創出
		市職員 専門分野での支援

注） ：取組主体としての役割、 ：関係者としての役割

5 [補足は?] 備考



水辺環境を守るための活動のイメージ